



環境かわら版

2023年12月号（331号）



「第10回三河湾大感謝祭」を開催しました (P6)



「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催しました (P7)



「アクション油ヶ淵 2023」を開催しました (P8)



「Let's EcoAction in AICHI」を開催しました (P9)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>)



「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します



愛知県では、カーボンニュートラルの実現に向けた方策について考え、意識の向上や行動の見直しにつなげていただくため、「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します。

地球温暖化対策を加速するためには、県民、事業者等あらゆる主体の皆さんと連携・協力して取り組む必要があります。本フォーラムはそれぞれの立場で考える良いきっかけとなりますので、是非ご参加ください。

1 日時

12月21日（木） 13:30～16:30

2 開催場所

会場：愛知芸術文化センター 12階
アートスペースA（名古屋市東区）

オンライン参加も可能です。（Zoom利用予定）

3 内容

(1) 主催者挨拶（知事予定）

(2) 認定証授与式

自動車エコ事業所認定証授与

あいちCO₂削減マニフェスト2030認定証授与

(3) 講演等

○ 基調講演

「COP28を踏まえたカーボンニュートラルの動向と
県内企業にとってのチャレンジ」

【講師】 ボストン コンサルティング グループ
マネージング・ディレクター & シニア・パートナー にわ よしひさ 丹羽 恵久 氏

【プロフィール】

国際協力銀行、欧州系コンサルティングファームを経て2004年にBCGに入社。BCG 気候変動・サステナビリティグループとパブリックセクターグループの日本リーダー。テクノロジー・メディア・通信グループ、社会貢献グループ、及び組織・人材グループのコアメンバー。

中央官庁・自治体・大学などの公的部門、通信・メディア・エンターテインメントなどの業界の企業やスポーツ団体・NPOに対して、デジタルサービス開発、アライアンス戦略、成長戦略、SDGs対応、組織変革、経営人材育成などのプロジェクトを手掛けている。

近年はBCG 日本のカーボンニュートラル・気候変動領域を統括するエキスパートとしても多数支援を実施。



○ 事例発表①

「3 か月で 65%削減も！ 中小企業にもできる旭鉄工のDXと儲かるカーボンニュートラル」

【講師】 旭鉄工(株) / i Smart Technologies(株)

代表取締役社長 きむら てつや 木村 哲也 氏

○ 事例発表②

「地域のお客さまとともに進める名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取り組み」

【講師】 (株)名古屋銀行

常務取締役 やまもと かつとし 山本 克俊 氏

○ トークセッション

「環境と地域経済の好循環を目指して」

登壇者：基調講演・事例発表講師 3名

MC： はやかわ あつこ 気象予報士/フリーアナウンサー 早川 敦子 氏

4 申込方法

下記 Web ページにある申込フォームからお申込みいただくか、参加申込書をダウンロードの上、メール又はFAXにより、12月15日（金）までにお申込みください。

Web ページ：<https://www.pref.aichi.jp/press-release/forum2023.html>

メール：ondanka@pref.aichi.lg.jp

FAX：052-955-2029



あいち地球温暖化対策フォーラム

検索

5 参加費

無料（オンライン参加の通信費は自己負担）

6 定員

【会場】150名 【オンライン】500名

ともに申込先着順

7 その他

本フォーラムの開催に伴い排出されるCO₂は、県と(株)名古屋銀行が9月28日に締結した覚書に基づいてオフセット（埋め合わせ）されます。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

あいちエコアクション・ポイント

冬季取組強化キャンペーンを実施します



愛知県では、県民の皆さんの脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換を促すため、グリーン購入やプラスチック製カトラリー類の辞退などの環境配慮行動（エコアクション）に対して、ポイントを発行する「あいちエコアクション・ポイント」を実施しています。

このポイントは、県民の皆さんが、県内約4,600の参加店舗等において対象のエコアクションを実践した場合に、店舗等に設置されている二次元コードをスマートフォンで読み取ることで獲得できます。300ポイント集めていただくごとに、賞品が当たる抽選に1回応募できます。

この取組をより広く普及させるため、12月16日（土）から1月15日（月）までを冬季の取組強化キャンペーン期間とし、通常賞品のQUO（クオ）カードに加え、協賛事業者から提供いただいた賞品を用意します。

是非エコアクションを実践し、ポイントを集めてご応募ください。

1 ポイント付与の対象となるエコアクションと獲得ポイント数

エコアクション	ポイント数
①グリーン購入（家電、衣類、食品、家庭用品、文房具）	省エネ家電 50P その他 10P
②プラスチック製カトラリー類の辞退	10P
③使用済みクリーニングハンガーの返却	10P
④飲食店での食べ残しゼロ	10P
⑤フードバンク等への寄付	10P

2 参加・応募方法

- ①Webサイトにアクセスし、アカウントを作成
- ②参加店舗等で、対象となるエコアクションを実践してポイントを獲得
- ③300ポイント集めたら、Webサイトのマイページから希望賞品を選択して応募

3 参加費

無料（ただし、通信費は自己負担）

4 キャンペーン期間限定の賞品

区分	賞品名 ()内は協賛事業者	当選者数
商品券	・スギ薬局商品券 【3,000円分（500円×6枚）】 （株）スギ薬局	10名
	・花とみどりのギフト券 【3,000円分（1,000円×3枚）】 （一社）JFTD 花キューピット	5名
	・ルブラ王山 ギフトクーポン 【2,000円分（1,000円×2枚）】 （ホテルルブラ王山）	10名
	・アイリス愛知「銀河」生ビール 1杯無料券 【1枚で5名様まで可（最大2,750円分）】 （アイリス愛知）	10名
	・サンヒルズ三河湾 宿泊割引券 【2,000円分（2,000円×1枚）】 （サンヒルズ三河湾）	10名
商品	<small>ナノックス ワン プロ</small> ・NANOX one PROギフト （ライオン(株)）	20名
	・いちご大福、さくらさくらの赤飯まんじゅう 【各5個の10個1箱】 （有）野田屋菓子舗	10名
ポイント	・がすてきポイント（500P） （東邦ガス(株)）	20名
チケット	・公式戦メンバーズ S 席ペア券 （ドラチクーポン） （株）中日ドラゴンズ	2名
	・楽の湯グループ共通 ペア入泉ご招待券 （天然温泉みどり楽の湯）	5名

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.eap.pref.aichi.jp>)



あいちエコアクション・ポイント

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を オンラインで配信しています



事業者による化学物質の適正な管理を一層促進するため、愛知県は名古屋市と共催で、化学物質を取り扱う事業者を対象としたセミナーを、オンラインで配信しています。是非ご視聴ください。

1 公開期限 2024年1月19日(金) 17:00まで

2 内容

(1) 「化管法* (PRTR 制度・SDS 制度) の概要及び改正内容について」

経済産業省製造産業局化学物質管理課

化学物質リスク評価室 かとり つとむ 神取 勉 氏

*特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

(2) 「化学物質の自主管理促進に向けて～PRTR 電子届出や届出データの活用など～」

(独)製品評価技術基盤機構 化学物質管理

センター リスク管理課 なかがわ ちか 中川 知香 氏

(3) 「愛知県及び名古屋市における化学物質の適正管理と条例に基づく届出の留意点について」

県環境局環境政策部環境活動推進課

(4) 「愛知県内における水質事故の概要及び未然防止について」

県環境局環境政策部水大気環境課

3 参加費 無料(通信費は自己負担)

4 申込期限 2024年1月19日(金) 正午まで

5 申込方法 あいち電子申請届出システム

(https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=85645)



申込完了時にメールにて視聴方法をご案内します。

化学物質適正管理セミナー 愛知県

検索

環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

地球温暖化防止活動推進員を募集しています



愛知県では、ボランティアとして、地域において地球温暖化に関する知識の普及と地球温暖化防止活動を進める「地球温暖化防止活動推進員」を募集しています。

1 地球温暖化防止活動推進員の活動内容

地方公共団体やNPO等からの依頼に応じ、又は自主的に、地球温暖化防止に関する活動を行います。活動状況は毎年、県に報告していただきます。

【活動例】

- ・小学校等での出前講座「ストップ温暖化教室」の講師
- ・市町村環境イベント等でのブーススタッフ
- ・緑のカーテンの育て方講習の講師
- ・地球温暖化に関する研修や説明会への参加

2 委嘱期間

2024年2月1日(木)から3年間

愛知県 地球温暖化防止活動推進員

検索

3 応募資格 (以下の事項を全て満たすこと)

- ・満18歳以上(2024年2月1日時点)で、県内に在住もしくは在勤、在学していること。
- ・地球温暖化防止に熱意と見識を有すること。
- ・暴力団員及びその関係者でないこと。

4 応募方法

「愛知県地球温暖化防止活動推進員応募申込書」及び「個人情報提供同意書」をメール又は郵送で提出してください。

5 応募受付期間

2024年1月9日(火)まで【必着】

詳細は、Webページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/suishinin-bosyu2024.html>)



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」を設立し、 中小企業等の脱炭素経営を支援します



カーボンニュートラルの実現に向けては、中小企業等の脱炭素経営に対する取組支援が極めて重要です。このため、経済団体や金融機関等と行政が一体となって、地域ぐるみで中小企業等の脱炭素経営を支援することを目的として、11月21日に「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム（事務局：愛知県）」を設立しました。また、本プラットフォームを核として、中小企業等に対する支援事業を実施しています。

1 プラットフォーム参画機関（合計56機関）

行政機関：環境省中部地方環境事務所、県、31市町

経済団体：愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、名古屋商工会議所

金融機関：地方銀行3行、信用金庫15行

その他：(公財)あいち産業振興機構

2 中小企業等に対する支援事業

(1) ワンストップ相談窓口の設置

相談窓口：(一社)環境創造研究センター

・電話 052-325-2422

・メール accca-info@kankyosoken.or.jp

・Web <https://cn.nagoya-cci.or.jp>

(2) 専門家による無料の伴走型省エネ診断（24社）の実施

(3) 炭素会計アドバイザー資格の取得支援（50名）

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-decarbonization-platform.html>)

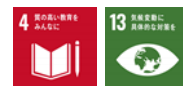


愛知県 脱炭素 プラットフォーム

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」の結果発表



愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択（クール・チョイス）」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動の一環として、夏休み期間中に、小学生とその家族が家庭で地球温暖化防止に向けたエコアップ行動に7日間取り組む「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施しました。

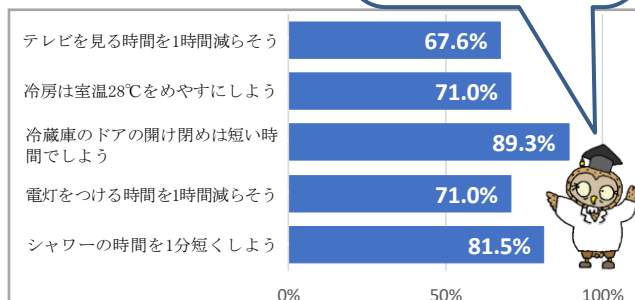
○ 参加数：5,049 家族

○ 参加小学校数：62 校

○ エコアップ行動取組結果

スギ 782 本相当* の CO₂が削減できたよ！

*5,049 家族が 7 日間で減らした合計量の推計 (10,952kg-CO₂で試算)、スギが 1 年間で吸収する CO₂吸収量を 14kg-CO₂として換算



参加した小学生からは、「意外と簡単に CO₂の削減ができた」「エコアップ行動をみんなですると楽しかった」など、楽しみながら取り組めたとの感想を多くいただきました。また、一緒に取り組んだご家族からも、「子供の一声で電力の無駄遣いに気づくことができた」といった声をいただきました。

○ 優秀校

児童の参加率の高かった小学校を、学校の規模（児童総数）別に優秀校として表彰します。

りゅうとう 笠東小学校(名古屋市)、ときわ 常磐小学校(岡崎市)、おど 小渡小学校(豊田市)、かたはらいしき 片原一色小学校(稲沢市)、にしびわじま 西枇杷島小学校(清須市)

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/aboutecoup.html>)

夏休みエコアップ大作戦

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「第10回三河湾大感謝祭」を開催しました



愛知県では、「三河湾環境再生プロジェクト」の一環として、多くの皆さんに三河湾への関心を持っていただくため、2014年度から「三河湾大感謝祭」を開催しています。

今年度は、10月14日（土）に田原市のLaLaGran及び白谷海浜公園で、「第10回三河湾大感謝祭」を開催しました。

LaLaGranでは、三河湾の生きものに触れることのできるタッチプールや、豊橋うなぎを使ったおむすび「うなむす」の試食が行われ、多くの方が訪れました。



生きものタッチプール

LaLaGranに設けられたステージでは、知事と鈴木田原市副市長の挨拶に引き続き、当日ステージに出演した柳田はるかさん、さかな芸人ハットリさん達とともに、三河湾の環境再生に向けた機運を高める「ガンバローコール」を行いました。



ガンバローコール

さらに、海洋ごみを加工して作成した楽器で様々な曲を演奏する海洋ごみ楽器集団「ゴミンゾク」によるライブ演奏が会場を盛り上げたほか、三河湾環

境トークショーでは、岸壁幼魚採集家の鈴木香里武さんと竹島水族館の小林龍二館長が三河湾の環境や生きものについて語り、来場者の三河湾への関心を高める大変良い機会となりました。

また、三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員を始め29団体のブースでは、三河湾の生きものや海ごみなどのテーマを題材とするクイズラリーや、地元の漁師による、あおさのりすき体験が行われました。



ゴミンゾクによるライブ演奏

白谷海浜公園で開催された地引網体験では、ダツやガザミなど三河湾にすむ生きものが引き揚げられ、鈴木香里武さんと小林龍二館長による解説が行われました。



地引網体験

当日は、多くの皆さんにご来場いただき、楽しみながら三河湾の魅力に触れ、考えていただく一日となりました。

三河湾環境再生プロジェクト

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催しました



食品ロス（本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品）の問題を県民や食品関連事業者の皆さんに知って、考えていただくため、「食品ロス削減イベント」を10月21日（土）に名古屋市中区のアスナル金山で開催しました。また、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及を進めるため、ごみゼロ社会推進あいち県民会議*主催の「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」が同時開催され、約400名の方にご参加いただきました。

*事業者団体、消費者団体、県内市町村等111団体で構成

【食品ロス削減イベント】

お笑い芸人のキンタロー。さんによる「食品ロス削減トークステージ」では、チェックシートを埋めながら、来場者と一緒に日々の取組を振り返っていただくとともに、家庭で食品ロス削減のために工夫している料理などをお話いただきました。

また、食品ロス削減アドバイザーの島本美由紀^{しまもとみ ゆき}さんから、食品を無駄にしない冷蔵庫収納や食品保存のコツなどについてご講演いただきました。



キンタロー。さん トークステージ



島本美由紀さん 講演会

【ごみゼロ社会推進あいち県民大会】

ごみゼロ社会推進あいち県民大会では、「レジ袋削減取組店」に登録している県内の226店舗のうちレ

ジ袋削減に顕著な実績を収めた3店舗に対し、知事から表彰状が授与されました。



表彰式

また、タレントの収納王子 コジマジックさんによるトークセミナーでは、収納術や、家庭から出るごみを少なくできる方法をご紹介します。



収納王子 コジマジックさん トークセミナー

このほか、会場内の各ブースでは、食品ロスをゲームや動画で学ぶ環境学習プログラムの体験、あいち食品ロス削減パートナーである名城食品(株)や(株)中部クリーンシステムの取組紹介、食品ロス削減の取組を学ぶことのできる体験や抽選会を行いました。

さらに、家庭などで余った食品を持ち寄るフードドライブには、40点計14.1kgの食品が集まり、フードバンクに寄付しました。ご協力ありがとうございました。

「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://kankyo.joho.pref.aichi.jp/foodloss/>)



〔資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)〕

「アクション油ヶ淵2023」を開催しました



愛知県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*の主催で、毎年度、体験型イベント「アクション油ヶ淵」を開催しています。

今年度は、10月28日（土）に油ヶ淵水辺公園自然ふれあい生態園（安城市東端町）で開催し、体験型講座や各種のブース出展を行いました。

講座では、公園内の田んぼでの生きもの観察や、秋の植物を用いた工作を体験し、水辺にすむ生きものや油ヶ淵周辺の植物の生態系について学びました。



秋の植物（荻）で工作体験

各種ブースでは、油ヶ淵マスコット「あぶちゃん」看板を探して写真撮影を行うフォトラリーや、水質浄化実験などを行いました。当日は、天候にも恵まれ、約800名の方にご来場いただき、楽しみながら油ヶ淵の生きものや環境への関心を深めていただくことができました。



水質浄化実験（碧南工科高校）

*油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。県と油ヶ淵周辺4市（碧南市、安城市、西尾市及び高浜市）で構成

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」のサポーターズカレンダーを製作しました



愛知県では、多くの人に県の里海^{さとうみ}である三河湾に関心を持ってもらい、三河湾を再生することを目的に「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」を2015年に設立し、三河湾に関するグッズの製作や、環境再生イベントの開催をしています。

この度、多くの皆さんに三河湾についてより親んでいただくため、パートナーシップ・クラブのサポーター向けに「三河湾の生きものまいにちカレンダー」を製作しました。

1 カレンダーについて

このカレンダーは、三河湾の漁港や干潟等の風景と三河湾に生息する生きものの写真を解説付きで載せた1か月の日めくりカレンダーです。

日付をめくるごとに、様々な三河湾の風景や生きものの写真をお楽しみいただけます。是非、サポーターになってカレンダーを手に入れてください。



「三河湾の生きものまいにちカレンダー」

2 サポーターの申し込みについて

県では、サポーターを随時募集しています。サポーターになって、環境局が企画するイベントに参加すると、カレンダーをはじめとするサポーターグッズがもらえます。サポーターの申し込みは、県Webページから行うことができます。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/recruitment-supporters.html>)

水大気環境課課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました



愛知県では、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を広げていくため、2014年度から「Let's エコアクション in AICHI」を開催しており、今年度は、「エコアクションをもっと身近に！」をテーマに、豊橋市との共催で、11月4日(土)に豊橋公園(豊橋市美術博物館前広場)において開催しました。

ステージイベントでは、日本廃品打楽器協会の山口とも会長による廃品から作った打楽器の演奏パフォーマンスや、地元アイドルグループ「OS☆U」(あいちエコアクション広報部)のライブ、エコアクションセレモニーなどを行いました。



廃品打楽器パフォーマンス

出展ブースでは、コーヒーカすを使ったコースター作り、環境を題材とした親子で楽しめるゲームなどを行いました。



環境を題材としたゲーム

また、豊橋市役所で開催された「530のまち環境フェスタ」と連携し、リサイクル自転車の無料抽選会や、エコアクションスタンプラリーを実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、多くの方にご来場いただき、両イベントを通じて楽しみながらエコアクションやSDGsについての関心を高めていただくことができました。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

SBSTTA (サブスタ) 25 で 国際先進広域自治体連合の取組を発信しました



愛知県は、世界の先進的な広域自治体 8 団体とともに「世界目標達成に向けた国際先進広域自治体連合 (GoLS)」を組織し、多様な主体の連携や世界の自治体による取組を活性化させることの重要性について、これまで国際会議等で発信してきました。

今回、10月15日から19日まで、ケニア共和国・ナイロビの国連アフリカ本部で開催された生物多様性条約締約国会議第25回補助機関会合 (SBSTTA25) にも、県はGoLSを代表して参加しました。

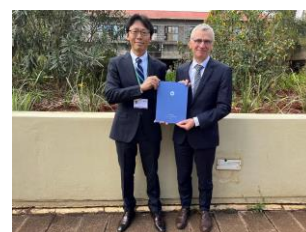
1 SBSTTA25 全体会合における声明の発表

自治体は条約の重要な推進主体の1つです。県は全体会合初日に自治体グループを代表して発言し、「生物多様性の保全における自治体の重要性が再認識されたことを歓迎する。さらに、これまで培ってきた知識と政策手段により生物多様性の損失防止に貢献する用意がある。」旨をアピールしました。

2 生物多様性条約事務局長代理との面談

会合3日目には、生物多様性条約事務局のデビッド・クーパー局長代理と面談し、GoLSを代表して新世界目標の達成に向けて貢献する決意を記した知事親書を手渡しました。

この際、県独自の取組である「あいち生物多様性企業認証制度」なども併せて紹介し、クーパー事務局長代理からは「我々の生活が生物多様性に依存しながら大きな負荷をかけていること、また自治体が新世界目標の全てに関与していることを広く伝えてほしい。」とのコメントをいただきました。



知事親書の手交

自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

生物多様性に関する優れた取組をしている企業を 認証しました



愛知県では、企業による生物多様性保全の取組を促すとともに、優良な取組の普及を図ることを目的に、優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を2022年度から実施しています。

今年度は4月から7月にかけて申請企業を募集し、学識者等による審査会を経て、優良認証企業6社、認証企業10社を認証しました。そして、11月10日、県本庁舎において認証式を行い、県産木材を利用した認証書を授与しました。

最近では企業による生物多様性保全に係る取組の重要性が強く認識されるようになり、昨年開催されたCOP15で採択された新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」でも、ビジネスにおける生物多様性に関する影響度の評価・開示についての目標が設定されています。また、同枠組では2030年までに陸と海の30%の保全を目指す「30 by 30目標」^{サーティバイサーティ}が設定され、この達成を目指して国が今年度から始めた「自然共生サイト」登録制度でも、あいち生物多様性認証企業が保全を進めている場所が複数箇所認定されました。県では引き続き、本認証制度などを通じて企業による取組を促進し、新たな世界目標の達成に貢献していきます。



認証式の様子

認証の区分と認証企業一覧(五十音順) 16社

優良認証 (6社)	
アイシン辰栄(株)	碧南市
いちい信用金庫	一宮市
河村電器産業(株)	瀬戸市
(株)creato	名古屋市天白区
中部国際空港(株)	常滑市
戸田建設(株) 名古屋支店	名古屋市東区
認証 (10社)	
内浜化成(株)	豊田市
(株)建設環境研究所 中部支社	名古屋市中区
(有)志多ら	北設楽郡東栄町
住友理工(株)	小牧市
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)	額田郡幸田町
テクノエイト(株)	瀬戸市
日本ガイシ(株)	名古屋市瑞穂区
林テレンプ(株)	名古屋市中区
富士電機(株) 中部支社	名古屋市中区
(株)紅久	豊橋市



あいち生物多様性
優良認証企業



あいち生物多様性
認証企業

認証企業マーク

【マークの趣旨】

いのち輝く青い地球を、両手で優しく包み込む様を描いたマークです。両手に見立てた2つの図形は動植物など生命をイメージしています。手と地球の間に「aichi」の頭文字「a」を表し、愛知の取組がグローバルにつながっていることを表現しています。グリーンからブルーへのグラデーションは、多様な生態系を育む水、緑、空を表すとともに、生物多様性を守り育む意識が未来へ伸びやかに育っていく願いを込めています。

<制度概要(URL)>

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/biodiversity-certification.html>)



自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)

あいち生物多様性企業認証

検索

国道23号通行ルール（名古屋南部地域）に

ご協力をお願いします



【国道23号通行ルール（名古屋南部地域）】

名古屋南部地域の大气環境は、近年徐々に改善が進んでいますが、この地域を貫く国道23号では、交通量が1日に10万台を超える箇所や大型車混入率が5割近い箇所もあり、他の道路沿道に比べ、大气汚染物質の濃度が高くなっています。

そこで、国土交通省では、名古屋南部大气汚染公害訴訟の和解条項の一つである車線削減の代替策として、従来からの法規制に加え、**大型車は中央寄り車線を走行**することで沿道の騒音や大气汚染を低減させる「**国道23号通行ルール（名古屋南部地域）**」を策定

し、関係機関（環境省、愛知県、名古屋市、愛知県警及び（一社）愛知県トラック協会）とともに周知や呼びかけを行っています。

＜対象車種＞ 大型車 [下の「大型車の例」参照]

＜実施区間＞ 緑区大高町（名古屋南インター交差点）～海部郡飛島村（梅之郷交差点）までの国道23号 約16kmの区間 [下の「実施区間」参照]

＜お願い＞ 実施区間では、**大型車は外側車線（環境レーン）を避け、中央寄り車線の走行**、**小型車は大型車が中央寄り車線を走行しやすいよう、外側車線（環境レーン）の走行**にご協力をお願いします。



中央寄り走行をお願いする大型車の例



避けて走行



「国道23号通行ルール（名古屋南部地域）」の実施区間

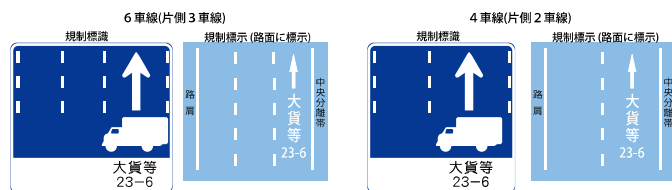
【法の規制を守りましょう】

・道路交通法により、上記の実施区間のうち緑区折戸～港区十一屋間では、大型車は夜間（23時～翌朝6時）、最も中央寄りの車線を通行してはなりません。

・黒煙を多量に発散する整備不良車、不正燃料使用車、過積載車両、許可なし特殊車両は公道を通行できません。

【その他 沿道環境に配慮した走行のお願い】

- ・「ふんわりアクセルでゆっくり発進」など、**エコドライブの実施**（排出ガスを抑え、燃料も節約できます。）
- ・自動車 NOx・PM 法車種規制非適合車を使用しない（「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、使用しないようお願いします。）



規制標識・規制表示

地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）
建設局 道路建設課 企画・環境対策グループ
電話 052-954-6541（ダイヤルイン）

○ 「気候危機対策交流フォーラム」を開催します

気候変動による深刻な気象災害など、気候変動の課題には緩和と適応の両輪で取り組む必要があります。こうした課題に取り組むきっかけとしていただくため、愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの共催で、地球温暖化対策の緩和と適応を融合した地域づくりについて考える「気候危機対策交流フォーラム」を開催します。是非ご参加ください。

1 日時 2024年1月11日(木) 13:30~16:40

2 場所 ウィンクあいち1101会議室
(名古屋市中村区名駅四丁目4-38)

3 参加費 無料

4 定員 50名(事前申込制)

5 内容

第1部 基調講演

「気象災害と地球温暖化

～台風と豪雨について～」

名古屋大学宇宙地球環境研究所/

横浜国立大学台風科学技術研究センター

教授 坪木 和久 氏

第2部 話題提供

「緩和策と適応策の融合とは」

環境省中部地方環境事務所環境対策課

課長 曾山 信雄 氏 他

第3部 トークセッション

詳細及び申込はWebページをご覧ください。

(<https://www.kankyosoken.or.jp/event/240111.html>)



○ すごろく-気候変動適応への道-

「消費者教育教材資料表彰2023*」で優秀賞を受賞した、気候変動への適応について楽しく遊んで学べる「すごろく-気候変動適応への道-」を、国立環境研究所気候変動適応センターが公開しています。

7月に茨城県つくば市で開催された「国立環境研究所 夏の大公開2023」では、満席になるほど好評だったそうです。

皆さんが集まる年末年始に、このすごろくで楽しく遊んでみてはいかがでしょうか。

・対象年齢：小学校4年生から大人まで
(小学生は大人と一緒に)

・1回にプレイ可能な人数：4~6名

・所要時間：4名プレイで30~40分程度

*主催：(公財)消費者教育支援センター



出典：「気候変動適応情報プラットフォームポータルサイト」

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://adaptation-platform.nies.go.jp/ccca/activities/sugoroku/index.html>)



すごろく気候変動適応への道

検索

環境調査センター 企画情報部

愛知県気候変動適応センター

電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

2023年12月4日発行(第331号)

編集・発行 愛知県環境調査センター

企画情報部

〒462-0032 名古屋市中区北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

編集後記

先月号からモリゾー・キッコロのイラストが表紙に登場しました。彼らが『環境かわら版』に初めて載ったのがいつか気になったので、バックナンバーを調べてみたところ、およそ20年前の2003年3月号でした。長く広く親しまれている彼らに、これから表紙を飾ってもらいます。(企画・編集チーム)

今月号とバックナンバーを「環境かわら版」Webページに掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>)

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

